

2009年3月3日

Report on International Seminar,
*Frontier of Energy Flow Dynamics in
Atomistic and Electronic Scales*

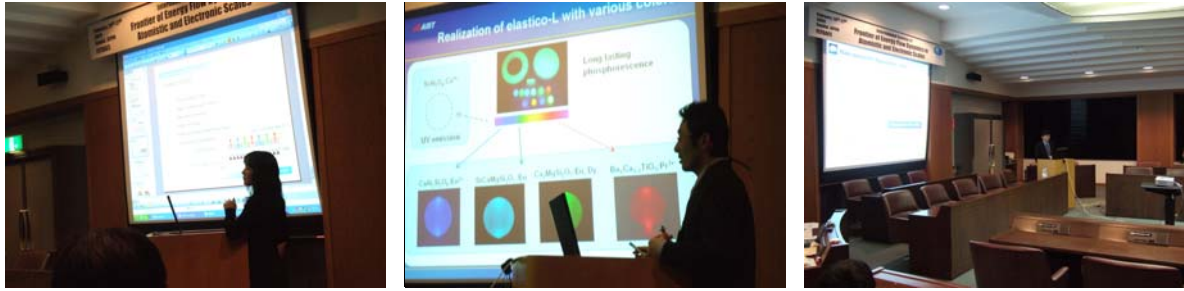
February 26th-27th, 2009
Aoba Memorial Hall, Tohoku University

2月26日と27日の両日、東北大学青葉記念会館において国際セミナー、「*Frontier of Energy Flow Dynamics in Atomistic and Electronic Scales*」(略称:FEFDAES)が開催された。セミナーは東北大学流体科学研究所 GCOEプログラム「*World Center of Education and Research for Trans-disciplinary Flow Dynamics*」の助成を受けて開催されたものである。FEFDAESは、近年盛んに研究されているディスプレイ、半導体やトライボロジーにおける電子・原子スケールでのエネルギー流れに注目した。当該分野の第一線で活躍する国内外の研究者に講演を行っていただき、電子・原子スケールでのエネルギー流れの将来像について幅広く議論した。大学教授、企業からの研究者、学部生・大学院生を含む計48人が参加した。日本は元より、その国籍は幅広く、アメリカ、フランス、韓国などから数多くの研究者が集結した。



PICTURE 1: セミナー会場 - 東北大学青葉記念会館 (501号室).

FEFDAESは第一日目の2月26日、座長・大沼宏彰による開会の挨拶からはじまった。第一日目は「*Light emitting materials*」と題して3人の先生に講演を行っていただいた。まず、静岡大学の小南裕子先生、産総研の山田浩志先生による招待講演が行われ、その後、韓国 KAIST の Duk Young Jeon 先生による基調講演が行われた。また、夜には懇親会が催された。



PICTURE 2: 講演の様子; 左から小南裕子先生, 山田浩志先生, Duk Young Jeon 先生.



PICTURE 3: 懇親会の様子 (青葉記念会館・四季彩にて).

第二日目の2月27日には、「Tribology」と題して3人の先生に講演を行っていただいた。はじめにフランス Ecole Centrale de Lyon の Jean-Michel Martin 先生に基調講演を行っていただき、その後、東北大学の足立幸志先生、資生堂の柿澤みのり先生に招待講演を行っていただいた。この日は、昼食会が催された。



PICTURE 4: 講演の様子; 左から Jean-Michel Martin 先生, 足立幸志先生, 柿澤みのり先生.



PICTURE 5: 昼食会の様子 (青葉記念会館・四季彩にて).

両日ともに教授だけでなく多くの学生からも活発な議論が行われた。



PICTURE 6: 学生による質疑の様子.

27日には、学生セッションも併せて開催された。4人の招待学生を含む計24人の学生がこのセッションに参加した。学生セッションは3分間の口頭発表と45分間のポスター発表から構成され、活発な質疑応答がなされた。また、参加した教授の厳正な審査により「*Outstanding Student Paper Award*」の受賞者が決定し、招待講演者である Ecole Centrale de Lyon の Caroline Mary さん、東北大学の芹沢和実君に贈られた。



PICTURE 7: 学生セッションの様子.



PICTURE 8: *Outstanding Student Paper Award* 受賞者の Caroline Mary さんと芹沢和実君.

最後に、座長・小野寺 拓による閉会の挨拶が行われ FEFDAES は成功裏に終了した。FEFDAES は全ての参加者にとって電子・原子スケールでのエネルギー流れの最前線を学び、また議論する良い機会となった。



PICTURE 9: 集合写真.